

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社

上場取引所 東

コード番号 7991 URL <http://www.mamiya-op.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢崎 登

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 吉野 利彦

TEL 03-5437-2311

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	8,009	37.0	712	611.1	740	—	607	—
21年3月期第2四半期	5,848	—	100	—	39	—	37	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	6.51	—
21年3月期第2四半期	0.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	13,225	6,462	48.9	69.28
21年3月期	12,012	5,761	48.0	61.76

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 6,462百万円 21年3月期 5,761百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	△6.2	860	41.7	830	169.9	730	73.0	7.83

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 エフ・エス株式会社)

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	93,481,700株	21年3月期	93,481,700株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	202,786株	21年3月期	195,423株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	93,282,381株	21年3月期第2四半期	93,309,696株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績は記載項目と大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おき下さい。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

※平成22年3月期第1四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年3月期第1四半期決算短信（平成21年8月5日開示）を参照して下さい。

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、依然として深刻な不況の中にあるものの、海外経済の改善などを背景とした自律性に乏しいものではありませんが、少しずつ回復の兆しを見せ始めています。

雇用情勢は引き続き極めて厳しく設備投資の減少も続いています。企業収益の減少ペースは緩やかとなり、大企業中心ではあるものの景況判断も上向き傾向にあり個人消費に持ち直しの動きが続いているなど、海外景気の下振れ懸念をはじめとする下押しリスクは無視できませんが、景気は、当面、持ち直し傾向が続くことが期待される状況にあります。

このような経済環境の下で当社グループは、光学機器事業からの撤退と浦和本社工場の売却に始まり、紙幣搬送システム等事業及び遊技場向けシステム関連事業の買収、スポーツ事業のグローバルブランドである「USTMamiya」の立ち上げ、そして戦略的意思決定を支える諸機能の東京・五反田への集約に至る、一連の戦略的事業再構築によって、経営資源の選択と集中並びに事業領域の拡大とを進め、健全かつ強固な経営基盤を着実に構築しつつあります。

この結果、当社グループの当第2四半期連結会計期間の売上高は40億82百万円（前年同期比43.7%増）、営業利益は3億95百万円（前年同四半期は6百万円）、経常利益は3億42百万円（前年同四半期は経常損失42百万円）、四半期純利益は3億17百万円（前年同四半期は四半期純損失21百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりです。

（電子機器事業セグメント）

電子機器事業セグメントは、中核機能の集約による戦略的かつ迅速な意思決定の下で、カードユニットのOEM事業への過度の依存を脱却し、より安定した収益基盤の確立と、さらなる成長を可能とする経営資源の強化を実現すべく、人材確保、独自技術の開発、新規市場の開拓等、営業・開発の両面からの体制整備を着実に進めております。

当第2四半期会計期間につきましては、旧仕様カードユニットの大規模な入替受注により計画を上回る売上及び利益を計上した第1四半期とは対照的に、OEM先の新製品投入への期待感から既存製品の買い控えが生じたものの、一連のM&Aによるプラス効果もあり、前年同四半期と比べ大幅な増収増益となりました。

この結果、電子機器事業セグメントの当第2四半期連結会計期間の売上高は36億34百万円（前年同期比74.3%増）、営業利益は4億7百万円（前年同四半期は営業損失46百万円）となりました。

（スポーツ事業セグメント）

スポーツ事業セグメントは、国内市場においては、「USTMamiya」第一弾のシャフトであるグローバルモデル「ATTAS」が9月10日の発売と同時に大きな反響を呼び、予想を大幅に上回る受注を得ると共に、発売後1年を経過した「AXIV Core」の衰えぬ人気に牽引され「AXIV」シリーズ全体の売上も上昇したため、前年同四半期を上回る実績を収め、第1四半期におけるマイナスをカバーすることができました。

一方、主力である海外市場においては、中核市場である米国における消費の冷え込みによるゴルフ用品の売上激減からクラブメーカーによるシャフトの在庫調整が続くと共に、素材と技術に新たな進展がなくファッション性で差別化するしかないカーボンシャフト市場における競争環境は厳しさを増しており、また、在外子会社の第2四半期は平成21年4月1日～6月30日となるため「USTMamiya効果」も限定的であることから、売上・利益共に、前年同四半期より大幅に減少し、営業損失を計上しました。

この結果、スポーツ事業セグメントの当第2四半期連結会計期間の売上高は4億47百万円（前年同期比40.8%減）、営業損失は12百万円（前年同四半期は営業利益52百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は132億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億13百万円増加いたしました。これは主として、売上債権が11億21百万円減少したものの、現金及び預金の増加19億46百万円及びエフ・エス株式会社を連結対象としたことによるものを含むのれんの増加1億85百万円、投資その他の資産におけるその他の増加1億84百万円等があったことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は67億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億11百万円増加いたしました。これは主として、仕入債務の減少5億75百万円等があったものの、長期借入金の増加7億54百万円等があったことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は64億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億1百万円増加いたしました。これは主として、利益剰余金の増加6億7百万円等があったことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、51億98百万円となり、前会計年度末に比べ19億69百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、14億23百万円の増加（前年同期は2億55百万円の資金減少）となりました。これは主として、仕入債務の減少6億82百万円等の資金減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益6億46百万円及び売上債権の減少14億1百万円等の資金増加要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、29百万円の減少（前年同期は9億99百万円の資金減少）となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入90百万円があったものの定期預金の預入による支出67百万円、有形固定資産の取得による支出28百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出14百万円等による資金減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億58百万円の増加（前年同期は42百万円の資金増加）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出2億92百万円があったものの、長期借入れによる収入9億円があったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期業績予想につきましては、平成21年10月27日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました予想に変更はございません。

しかしながら、現在、業績の進捗状況並びに今後の経営環境等を踏まえ見直しを検討しており、その結果、業績予想の変更が必要となった場合には、その内容が確定次第、速やかにお知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規1社：エフ・エス株式会社

平成21年4月1日付で、エフ・エス株式会社の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

② 繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度決算において使用した将来の事業予測を利用しておりません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「固定資産賃貸費用」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「固定資産賃貸費用」は21,145千円です。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,253,485	3,306,616
受取手形及び売掛金	3,519,027	4,640,321
有価証券	12,458	12,458
商品及び製品	585,180	673,022
仕掛品	543,329	362,681
原材料及び貯蔵品	761,494	961,677
繰延税金資産	27,768	9,175
その他	119,181	109,718
貸倒引当金	△38,023	△31,316
流動資産合計	10,783,904	10,044,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	568,295	541,568
減価償却累計額	△359,091	△332,895
建物及び構築物(純額)	209,204	208,673
機械装置及び運搬具	817,699	741,849
減価償却累計額	△672,798	△608,254
機械装置及び運搬具(純額)	144,900	133,595
工具、器具及び備品	905,314	803,796
減価償却累計額	△808,952	△730,248
工具、器具及び備品(純額)	96,362	73,547
土地	1,913	1,913
建設仮勘定	1,703	30,101
有形固定資産合計	454,084	447,830
無形固定資産		
のれん	360,623	175,299
その他	9,091	7,695
無形固定資産合計	369,715	182,994
投資その他の資産		
投資有価証券	983,390	954,510
長期貸付金	376,383	379,215
繰延税金資産	88,221	14,959
その他	794,308	609,506
貸倒引当金	△624,405	△621,038
投資その他の資産合計	1,617,897	1,337,153
固定資産合計	2,441,696	1,967,978
資産合計	13,225,600	12,012,334

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,121,181	3,696,442
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	875,597	585,661
未払法人税等	41,147	22,767
賞与引当金	52,088	33,508
その他	539,610	225,554
流動負債合計	4,719,624	4,653,933
固定負債		
社債	295,000	340,000
長期借入金	1,180,474	716,241
退職給付引当金	420,025	452,105
役員退職慰労引当金	65,811	26,785
その他	82,128	62,190
固定負債合計	2,043,440	1,597,322
負債合計	6,763,064	6,251,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,958,747	3,958,747
利益剰余金	2,348,824	1,741,314
自己株式	△31,116	△30,598
株主資本合計	6,276,454	5,669,463
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,971	△5,320
為替換算調整勘定	172,110	96,935
評価・換算差額等合計	186,081	91,615
純資産合計	6,462,536	5,761,078
負債純資産合計	13,225,600	12,012,334

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	5,848,244	8,009,884
売上原価	4,291,466	5,655,834
売上総利益	1,556,778	2,354,050
販売費及び一般管理費	1,456,630	1,641,859
営業利益	100,147	712,191
営業外収益		
受取利息	4,980	2,699
受取配当金	705	18,773
為替差益	—	17,892
固定資産賃貸料	20,597	20,597
その他	18,474	8,273
営業外収益合計	44,757	68,235
営業外費用		
支払利息	16,437	17,510
固定資産賃貸費用	—	20,969
為替差損	48,647	—
その他	40,325	1,930
営業外費用合計	105,411	40,410
経常利益	39,493	740,016
特別利益		
固定資産売却益	64	24
貸倒引当金戻入額	36,862	2,100
役員退職慰労引当金戻入額	—	9,236
特別利益合計	36,926	11,360
特別損失		
固定資産除売却損	59	210
早期割増退職金	—	97,870
その他	—	6,510
特別損失合計	59	104,591
税金等調整前四半期純利益	76,360	646,785
法人税、住民税及び事業税	41,125	30,851
法人税等調整額	△1,795	8,423
法人税等合計	39,329	39,275
四半期純利益	37,030	607,510

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,841,213	4,082,139
売上原価	2,153,103	2,923,303
売上総利益	688,109	1,158,835
販売費及び一般管理費	681,991	763,663
営業利益	6,118	395,171
営業外収益		
受取利息	2,775	1,293
受取配当金	705	—
固定資産賃貸料	10,298	10,298
その他	3,337	3,416
営業外収益合計	17,116	15,008
営業外費用		
支払利息	2,768	9,201
為替差損	33,413	47,517
その他	29,577	11,397
営業外費用合計	65,759	68,116
経常利益又は経常損失(△)	△42,524	342,063
特別利益		
固定資産売却益	19	24
貸倒引当金戻入額	36,862	—
特別利益合計	36,882	24
特別損失		
固定資産売却除却損	59	24
貸倒引当金繰入額	—	5,945
その他	—	700
特別損失合計	59	6,670
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,701	335,417
法人税、住民税及び事業税	14,458	10,599
法人税等調整額	1,778	7,704
法人税等合計	16,236	18,304
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,938	317,112

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	76,360	646,785
減価償却費	76,073	48,813
のれん償却額	21,912	44,938
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34,596	1,637
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,871	△15,360
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	35,852	△99,841
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,261	△5,594
受取利息及び受取配当金	△5,686	△21,472
為替差損益 (△は益)	48,647	△17,892
支払利息	16,437	17,510
売上債権の増減額 (△は増加)	△615,573	1,401,602
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△107,014	158,151
仕入債務の増減額 (△は減少)	253,486	△682,863
その他	41,381	△6,351
小計	△214,327	1,470,063
利息及び配当金の受取額	5,686	23,053
利息の支払額	△16,437	△15,656
法人税等の支払額	△30,318	△53,499
営業活動によるキャッシュ・フロー	△255,397	1,423,962
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△57,500	△67,500
定期預金の払戻による収入	75,000	90,000
有形固定資産の取得による支出	△36,440	△28,692
有形固定資産の売却による収入	3,731	1,356
投資有価証券の取得による支出	△19,500	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△987,000	△14,712
貸付けによる支出	—	△200,000
貸付金の回収による収入	32,832	202,832
その他	△10,333	△12,952
投資活動によるキャッシュ・フロー	△999,210	△29,668
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△3,000
長期借入れによる収入	100,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△257,142	△292,830
社債の発行による収入	200,000	—
社債の償還による支出	—	△45,000
自己株式の取得による支出	△807	△518
財務活動によるキャッシュ・フロー	42,049	558,650
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,326	16,425

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,219,884	1,969,369
現金及び現金同等物の期首残高	4,517,162	3,229,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,297,277	5,198,485

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	電子機器 事業 (千円)	スポーツ 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,085,652	755,560	2,841,213	-	2,841,213
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,085,652	755,560	2,841,213	-	2,841,213
営業利益又は営業損失(△)	△46,695	52,814	6,118	-	6,118

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

	電子機器 事業 (千円)	スポーツ 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,634,800	447,338	4,082,139	-	4,082,139
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,634,800	447,338	4,082,139	-	4,082,139
営業利益又は営業損失(△)	407,608	△12,437	395,171	-	395,171

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	電子機器 事業 (千円)	スポーツ 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,350,018	1,498,225	5,848,244	-	5,848,244
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,350,018	1,498,225	5,848,244	-	5,848,244
営業利益又は営業損失（△）	△20,977	121,125	100,147	-	100,147

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	電子機器 事業 (千円)	スポーツ 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,183,152	826,731	8,009,884	-	8,009,884
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,183,152	826,731	8,009,884	-	8,009,884
営業利益又は営業損失（△）	820,544	△108,353	712,191	-	712,191

- (注) 1. 製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。
2. 各区分に属する主な製品は以下のとおりであります。
- (1) 電子機器事業……………パチンコ関連機器、小型自動券売機、紙幣搬送システム及び紙幣識別機、
薄膜膜厚計、OEM機器、遊技システム及び磁気カードシステムの設置・
保守
- (2) スポーツ事業……………ゴルフシャフト・ゴルフ関連用品、遮断桿
3. 当第2四半期連結累計期間において、エフ・エス株式会社を連結の範囲に含めたことにより、遊技システム及び磁気カードシステムの設置・保守が、主な製品（電子機器事業）に加わっております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,224,155	118,897	498,160	2,841,213	-	2,841,213
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	396,637	6,691	403,328	(403,328)	-
計	2,224,155	515,535	504,851	3,244,541	(403,328)	2,841,213
営業利益又は営業損失(△)	△62,750	13,588	44,126	△5,036	(△11,154)	6,118

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,791,455	17,326	273,357	4,082,139	-	4,082,139
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	242,943	27,022	269,966	(269,966)	-
計	3,791,455	260,269	300,379	4,352,105	(269,966)	4,082,139
営業利益又は営業損失(△)	408,823	△24,199	4,389	389,013	(△6,157)	395,171

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,620,306	212,922	1,015,015	5,848,244	-	5,848,244
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	677,993	11,284	689,278	(689,278)	-
計	4,620,306	890,915	1,026,300	6,537,522	(689,278)	5,848,244
営業利益又は営業損失(△)	△32,855	27,980	93,868	88,993	(△11,154)	100,147

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,442,893	79,596	487,394	8,009,884	-	8,009,884
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	324,091	36,163	360,254	(360,254)	-
計	7,442,893	403,688	523,557	8,370,139	(360,254)	8,009,884
営業利益又は営業損失(△)	817,998	△41,112	△75,211	701,675	(△10,516)	712,191

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

(1) アジア……………バングラデシュ、中国

(2) 北米……………米国

[海外売上高]

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	408,483	54,029	438,280	2,807	903,601
II 連結売上高（千円）	-	-	-	-	2,841,213
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	14.4	1.9	15.4	0.1	31.8

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	232,410	38,045	73,923	5,844	350,223
II 連結売上高（千円）	-	-	-	-	4,082,139
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	5.7	0.9	1.8	0.2	8.6

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	794,979	100,284	616,883	4,367	1,516,514
II 連結売上高（千円）	-	-	-	-	5,848,244
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	13.6	1.7	10.5	0.1	25.9

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	383,419	61,874	144,306	10,120	599,721
II 連結売上高（千円）	-	-	-	-	8,009,884
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	4.8	0.8	1.8	0.1	7.5

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米……………米国、カナダ

欧州……………ドイツ、イギリス

アジア……………中国、韓国、タイ、シンガポール

その他……………オセアニア、南米、アフリカ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。